

一般質問通告書

受領日時 令和6年 11月 27日 (午前)・午後10時47分 3番 氏名 中村 司

質問項目	質問の要旨
1.財政の現状と課題	<p>(1) 課室予算要求から予算案決定に至る過程(時期を含む)を伺います。</p> <p>(2) 現在、令和7年度予算要求に向けた作業中と思うが、来年2月の町長選を控え、「骨格予算」とするのか。また、予算要求にあたり、各課室に対してどのような方針を指示されたか。加えて新規事業計画があれば併せて伺います。</p> <p>(3) 当町人口ビジョンによれば、少子・高齢化による人口減少に加えて、2025年には老年人口(65歳以上)が生産年齢人口(15歳から64歳)を上回るとしている。歳入においては、町税、地方交付税などの減少。歳出では、国保、後期高齢・介護保険など特別会計への繰入金割合の増加、内水浸水対策としてインフラ整備、上下水道事業への補助金支出、3年連続の実質公債費比率が上昇する。よって、財政の健全化と未来への投資(施策)のバランスをどうとるのが課題である。町長の考えを伺いたい。</p> <p>(4) 7次行政改革推進プログラム(案)では、財政調整基金積立目標20億円、新規に役場庁舎の建替えを見据え、令和23年まで10億円を貯えることを検討とある。上記の通り、一段と難しい財政運営が予想される中、その道筋を伺いたい。</p>
2.公共施設等総合管理計画について	<p>(1) 令和4年度有形固定資産減価償却率が81.7%であり、類似団体では最大値(75中/75位)となっている。原因は多くの建築系施設が1975年から2000年にかけて建築が集中したことなどによる。減価償却率81.7%の現状の受け止め、今後の対応を伺います。</p> <p>(2) 当町の保有、管理する橋梁が115橋。内建設年度不明の橋梁が44橋との記述があるが事実か。その44橋を特定し、安全性は確認しているか。今後の対応を伺います。</p> <p>(3) 公共施設等の統合や廃止については、住民サービスの水準低下が伴うことから、住民との合意形成が必要とし、4段階にもとづいた公共施設のコンパクト化の施策が示されている。今後は、経年劣化により、維持管理、修繕などのコスト増加が予想される。客観的視点に基づき、公共性、経済性、効率性、有効性などを検証し、財政健全化のためにも施設のコンパクト化を進めるべきと考えるが。</p>

<p>3. 県道八郎潟線、雀館線沿い樹木（欒）の落葉について</p>	<p>道路沿線の樹木（欒）は、春の新緑から秋の紅葉への季節の移ろいを感じさせる。しかし、晩秋には大量の落葉が発生、家（店舗）の前の落葉を毎日のように片づける人、全く関知しない人と沿道住民の対応はまちまちである。現在、住民が片づけた落葉（ビニール袋入り）は、青空号が回収しているものと理解している。沿線住民の高齢化が進み、負担になっているのが実情である。落葉の発生は1ヶ月程で終わることから、吸引機（バキュームブロア）導入し、落葉処理を青空号やシルバー人材センターへ委託は出来ないか。</p>